

校長室だより No. 23 3月24日(火)

こんな時だからこそ、心も身体も健康に(3学期終業式)

全国では一斉休業の措置によって終業式もできない学校がある中、本校では3学期も通常の授業を行い、無事に終業の日を迎えることができました。しかしながら体育館に集まって全校生での終業式は行わず、各ホームルームで放送での終業式となりました。



* * * * *

2月の下旬から新型コロナウイルス感染防止のため学校行事がなくなったり、部活動もできなくなったりするなど普段とは違う落ち着かない日々が続きました。島根県では今のところ感染者は出てはいませんが決して安心することはできない状況が続いています。25年前の阪神淡路大震災、9年前の東日本大震災、そして記憶に新しいところでは今年の豪雨災害と日本は多くの災害に見舞われていますが、全国のほとんどの学校が一斉に休校するという事態は経験したことのない非常事態です。世界では今の状況を「戦争」と表現し、最大級の警戒態勢を行っている国もあります。昨日は世界35カ国で9億人以上の人々が、なんらかの行動制限を受けているという報道もありました。まさしく私たちは後世に語り継がれるであろう「歴史上の重大事件」に直面していると言えます。

しかし、だからと言って無闇に怖れる必要はありません。リスクを高めないために求められていることをしっかりと実行してください。

そして、君達には、こんな時だからこそ「心も身体も健康に保って欲しい」と願っています。普段、新聞やニュースを見ること、じっくりと社会的な問題を考えることは少ないかもしれません。だからこそ、どんな意見や考え方があり、自分はそれに対してどう思うのかを考え行動して欲しい。今回の新型コロナウイルスの感染拡大に対して日本や各国の対応や状況から何を学ぶべきなのかを自分の意見として話せるようになって欲しいと思っています。

また、日本には感染症を理由に人々を隔離し、その人の人生を奪った負の歴史があります。2年生は人権・同和教育の授業で既に学んでいると思います。「ハンセン病」です。人権感覚を鋭くし、それと同じような人権侵害に自分が荷担することが決してないよう、アンテナを鋭く立てて欲しい。そのようなことも含めて「心の健康」を保ってほしいと願っています。

次に「身体の健康」についてです。感染による重症化リスクが低い若者が、重症化リスクの高い人に感染を広めることがないようにということで全国の学校で臨時休業措置が行われました。ですから不要不急の外出をしないことや感染リスクが高い場所にはいかないことが基本となりますが、家の周囲の散歩や人が密集していない場所での運動を妨げるものではありません。しっかりと運動し、身体を動かしてください。春休みということでゲームやネットの時間が増える人もいるかもしれませんが、春休みのあいだ中ゲーム漬け、ネット漬けになると生活リ

ズムを元に戻すのは大変です。そうならないためにもいつも通りの時間に起きて寝ることを基本に、しっかりと身体の健康も保ってほしい。

1年最後の振り返りとしてもう一つだけ話をしておきたいと思います。

2年生には1学期の始業式で、1年生にはオリエンテーションの機会に「てん」という絵本を紹介しました。ワシテというお絵描きの嫌いな女の子が、先生に促されてマジックで「てん」を描いたことをきっかけに自分の可能性を広げていくという話です。君達も自分の「てん」を見つけてほしい。なんでも構わないので「一步踏み出す1年にしてほしい」というメッセージを伝えました。この1年を振り返ってみて、自分の可能性を広げようと新たな一步を踏み出せたかどうか？もしそれができていたのであれば、おそらく今年度は充実した1年になったのではないかと思います。しかし、もし「何も思いつかない」というのであれば、新年度が始まるまでの期間、「自分は今、何をすべきなのか」を真剣に考える必要があるでしょう。高校の3年間はあっという間に過ぎてしまいます。特に2年生は最後の1年です。校訓である「気概」を実践すべく「自分は何をすべきか」今一度考え、楽な方へ楽な方へと流れてしまう弱い自分に打ち克ってください。

* * * * *

まだまだ先行きは不透明ではありますが、この春休みが一人一人にとって充実した時間になることを願っています。